

講義名：環境問題概論[2] <春> 曜日：金1 担当教員名：巖 圭介		ナンバリングコード：SOC1420 曜日2：	
研究室：聖アンデレ館7階716号室		オフィスアワー：金曜日昼休み	
メールアドレス： iwao@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』 『実務経験のある教員による授業①(農水省の研究所で勤務経験のある教員が、その経験を活かして、温暖化や化学物質、水資源と、食糧問題を含む社会の持続可能性について講義する。)』			
講義・演習概要			
気候変動、リサイクル、化学物質・・・環境問題はすでに身近にあり、多くの人が漠然とした不安を持ちながら、しかし具体的に行動を起こすことなく毎日を送っている。私たちの生活の何がどのように問題なのか、多くの情報があふれかえる現在、信頼できる基礎知識を身につけ、それをもとに論理的に思考してこれからの自分の行動を決めていかねばならない。この講義では、世界の市民としてこれからの時代を責任をもって生きていくうえで必須と思われる、主要な環境問題に関する基礎知識を身につけてもらう。			
学習(到達)目標			
主要な環境問題(ゴミ問題、人工化学物質汚染、気候変動、エネルギー問題、大気汚染、オゾン層破壊、食糧問題)について、起きている問題の内容とその原因を説明できるようになる。			
講義・演習計画			
【第1回】 イントロダクション:持続不可能な地球			
【第2回】 ゴミ問題1:基本の枠組みと現状			
【第3回】 ゴミ問題2:産業廃棄物			
【第4回】 ゴミ問題3:リサイクル			
【第5回】 化学物質汚染1:負の遺産			
【第6回】 化学物質汚染2:ダイオキシン			
【第7回】 水質汚染			
【第8回】 生態系の破壊			
【第9回】 気候変動1:現状と原因			
【第10回】 気候変動2:国際取り組み			
【第11回】 気候変動3:エネルギー問題			
【第12回】 大気汚染と酸性雨			
【第13回】 オゾン層破壊			
【第14回】 食糧問題			
【第15回】 まとめ:地球の持続可能性			
成績評価の方法			
試験	50%	レポート	50%
コメント	大きなテーマごとにレポートを課すほか、各回の内容の理解を確認する小テストを行い、合わせて成績評価を行う。		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
環境省編『令和2年版 環境・循環型社会・生物多様性白書』(Web版)、東京商工会議所『ECO検定公式テキスト(改訂7版)』日本能率協会マネジメントセンター2019、遠山益『人間環境学』裳華房2001、安井至『市民のための環境学入門』丸善ライブラリー1998、他、適宜紹介する。			
事前および事後学習の指示(事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)			
日常目にする環境関連のニュースなどをチェックし、常に情報をとりいれておくこと。授業では板書の負担を軽減するため穴埋めプリントを配付するが、その穴を埋めるだけで済むわけではない。ノートと、配付資料の内容と授業後に統合して整理することで、はじめて十分な理解ができるはずなので、次の授業までにきちんと復習をすること。			
その他備考(担当教員用)			
この講義では現状の問題を紹介するにとどまるが、解決策などについては姉妹科目である「サステナビリティ論」を続けて受講することをお勧めします。また2回生以上はこの「環境問題概論」(2単位)と「サステナビリティ論」の両方を受講することで、旧「環境問題概論」(通期4単位)の単位となります。			
キーワード			
環境、持続可能性			
備考(管理者用)			
(旧:環境問題概論)02~20生読替			